

皆さんの声を議会へ

本市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、14名の議員が質問しました。

質問者	質問項目
寄谷 猛男 (日本共産党)	子どもの権利条例の制定 子どもの権利救済機関の設置 外国人との共生啓発動画の作成 エアコン購入費用の助成 公園のイベント利用支援・空き地のイベント広場としての活用 学校体育館空調設備の設置
安樂 良幸 (新政会)	ふるさと納税 市内高等学校の今後の在り方
好川 章 (新政会)	市営バスの運行 介護事業所の廃業による市民への影響 認知症予防
福井 雅章 (新政会)	病院の経営責任 病院の経営改善に向けた取り組み
堀 重雄 (公明党)	身寄りのない高齢者に対する支援
藤田 哲也 (市民ネットワーク)	財政シミュレーション
関藤 龍也 (市民ネットワーク)	滝川駅周辺地区再生整備事業 持続可能なまちづくり 官民連携事業 事業所の実態把握調査 教職員の研修 給食費無償化
荒木 文一 (市民ネットワーク)	病院事業債(経営改善推進事業) 許可病床数の削減に伴う人員削減 看護師修学資金貸付枠の設定 今後の大規模改修 一般会計からの繰入金 法定外繰入に対する考え方
三上 裕久 (公明党)	滝川市公共施設個別施設計画前期計画 遊休資産 市営住宅の猛暑対策 特別教室での猛暑対策
木下八重子 (会派清新)	道路維持 医療体制
荻野 仁史 (市民ネットワーク)	西滝川エリアへの公共交通 母親のためのレスパイトケア事業 賑わいの創出 滝川ふれ愛の里
高橋江海子 (会派清新)	女性活躍社会の実現 滝川駅周辺地区再生整備事業 生活保護 保育料の算定 妊産婦への保健・栄養指導 文化教育拠点
山口 清悦 (新政会)	災害時の輸送協定 訪問介護事業への支援
柴田 文男 (会派清新)	市政執行体制の整備促進 指定管理者制度の見直し

※「指定管理者」は10ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

第3回定例会 一般質問から

子どもの権利条例の制定について



寄谷 猛男（日本共産党）



問 子どもの権利保障を規定する基本条例の制定について伺う。

答 本市にはこどもの子育て・子育て環境づくりに関する条例があり、子どもの視点のまちづくり、子ども参画の促進は条例で定められ、やらなければならないものと認識しています。優先すべきは実際の施策であり、新たな条例の制定は考えていません。

問 平和公園のイベント利用料の見直しについて伺う。

答 公園でのイベントは本来の公園利用に一時的な制限が生じることから、事前の許可及び使用料が必要です。1日1㎡につき70円としており、改定は考えていません。

問 旧総合福祉センター跡地のイベント利用について伺う。

答 イベント利用も可能で、利用料は1日1㎡につき、1,14円です。

市内高等学校の今後の在り方について



安楽 良幸（新国会）



問 少子化が進む中、本市教育委員会として将来を見据え、市内に所在する高等学校の今後の在り方をどのように考えているのかを伺う。

答 全国的に少子化が進む中、北海道教育委員会から6月に示された公立高等学校配置計画案の中では、空知北学区において中卒者数が令和8年度から14年度までに184人減少すると推測されており、本市を中心に周辺市町を含めた全体の配置と在り方について検討が必要と示されました。滝川市教育委員会としては少子化による進学動態、今後の本市における様々な計画や財政状況などの下、未来を切り拓く自立型人材の育成に向け、北海道教育委員会と協議・調整を進めながら今後の市内3校の在り方について検討していきます。

ものの忘れ検査入院について



好川 章（新国会）



問 滝川市立病院の「ものの忘れ検査入院」の利用状況を伺う。

答 平成30年度は5件でスタートしましたが、令和6年度には33件となり成果を挙げています。2泊3日の入院で検査を行い、専門スタッフが診断し、患者や家族の意見を尊重しながら支援しています。

問 市内の介護事業所が廃業したが、利用者に影響はなかったのかを伺う。

答 事前に事業を廃止する届け出が提出されており、廃止日までに全ての入居者がほかの施設に移転したことを確認しています。

問 滝川市内線の利用状況について伺う。

答 令和7年度から滝川市の運行となりましたが、7月末時点の利用状況は令和6年度と同水準で推移していることを確認しています。

初任給減額と経営責任について



福井 雅章（新国会）



問 看護師等の初任給基準の見直し計画案により、1人あたり年20万円が減額され、職員間に賃金格差が生じることを確認した。初任給の減額は、経営責任の一端を滝川市立病院で働くことを志した看護学生等に対する信義にもとる責任転嫁に思われ、大変情けなく感じる。減額を実施するにあたって、経営責任者はどのような責任を取るのか道理であるか市長の考えを伺う。

答 労使協議事項であるため、答弁を差し控えさせていただきます。

問 現在、市立病院は、一部適用形態により経営をしているが、経営責任はどこにあると考えているか市長に伺う。

答 市立病院の設置者は市長であることから、最終的な経営責任は私市長にあるものと認識しています。

身寄りのない高齢者支援について



堀 重雄（公明党）



問 入院などで身元保証や死亡後のことに不安を抱える身寄りのない高齢者は多く、民間の身元保証サービスは高額であるため、経済的理由から利用できない市民もいる。市としてどのような支援ができるのかを伺う。

答 全国では、高齢者単身世帯等の増加が見込まれる中、厚生労働省の「地域共生社会の在り方検討会議」において、身寄りのない高齢者等の生活上の課題に関する相談窓口の在り方として、介護、障がい、生活困窮等の各領域で支援体制の枠組みがあることを踏まえ、相談支援機能を強化していくべきとの方向性が示されています。滝川市においては、支援体制の枠組みがあることから、相談内容を受け止め、連携した相談支援を行っています。

財政シミュレーションについて



藤田 哲也（市民ネットワーク）



問 昨年の第4回定例会における「財政シミュレーションは検討中のため提示が遅れている」との答弁から半年以上が経過したが、いまだ市民や議会に示されていない。他の自治体では不確実性があっても暫定的な財政見通しを公表しており、本市が公表できない具体的な理由を伺う。

答 本市においては、病院経営の先行きに関する不確実性や、駅前再整備事業の一旦停止に伴う計画見直しなど、将来の財政負担に大きく影響する要素が現時点で確定していません。そのため、現段階で財政シミュレーションを提示することは困難であると考えていますが、駅周辺整備の再開にあたっては、財政シミュレーションを提示したいと思っています。

第3回定例会 一般質問から

駅周辺整備事業と給食費無償化について



関藤 龍也（市民ネットワーク）



問 駅周辺整備事業の再開や政策転換など、今後どのように進めていくのかを伺う。

答 令和9年度を目標に事業を再開したいと考えていますが、財政見通しを含め、現段階では今後の展開を示すことはできません。

問 旧スマイルビルの解体を早期に進めるべきと考えるが、見解を伺う。

答 財政見通しを見極めつつ、地方都市の市街地再生の必要性を国に働きかけたいと考えています。

問 中学校の給食費無償化を本市独自で実施する考えはあるのかを伺う。

答 物価高騰に伴う給食費上昇分を公費負担していますが、国の動向を見極め、令和8年度以降の給食費のあり方について、引き続き検討していきたいと考えています。

病院事業について



荒木 文一（市民ネットワーク）



問 新たな病院事業債（10億円超）の発行は、建物の償還と合わせて、多重債務につながらないのか。

答 起債による固定負債となるため、金融機関からの一時借入ではありません。令和11年度に現金残高を残し、支払利息を極力抑えつつ、財政健全化法の20%以上の資金不足比率を発生させない範囲での借入を検討します。

問 現在の建物（新病院）となって以降、令和6年度までの間に、本来は一般会計から繰入れされるべき金額（総務省の繰出基準）と実際の金額との差を伺う。

答 現在の建物になった平成23年度から令和6年度までの14年間で、繰入基準と実際に繰入れされた金額の差については、49億5461万円となっています。

エアコン設置による猛暑対策について



三上 裕久（公明党）



問 市営住宅の網戸設置を標準とすることや指定管理者あるいは、市内事業者と入居者間でのリース契約方式によるエアコン設置を可能とすべきと考えるが、見解を伺う。

答 網戸の設置は、費用が高くなるため、考えていません。また、指定管理者及び市内事業者へのリース契約方式によるエアコン設置を打診しましたが、難しいとの返答をいただいています。

問 市内小中学校の特別教室（音楽室・理科室等）や体育館におけるエアコン設置に向けての考えを伺う。

答 市所有のスポットクーラーが80台ありますので、未設置の音楽教室や理科室などで活用し、一時的に涼んでいただきたいと考えています。そのため、現時点ではエアコンを設置する考えはありません。

道路維持と医療体制について



木下八重子（会派清新）



問 凍結等の影響で市道が歪んでいると苦情を聞く。安全確保の面から、道路補修を速やかに進めるべきと考えるが、現在の対応を伺う。

答 日頃からパトロールを実施し、危険な箇所は即時対応を行っているところです。今後も必要な予算を確保し、集中的に取り組んでいけるよう協議を進めていきます。

問 市立病院の医療体制に不安を抱く市民に対し、「自治体病院として守る最低減の医療ライン」を提示すべきと考えるが、見解を伺う。

答 許可病床を減少する予定ですが、適正な病床数への見直しを図るものであり、急性期医療から他の機能への転換ではありません。今後も関係機関との連携強化や二次救急医療機関としての体制維持に努めながら、市民の健康増進に寄与していきます。

西滝川エリアへの公共交通について



荻野 仁史（市民ネットワーク）



問 令和8年度開設予定の新B＆G海洋センター、既存の滝川ふれ愛の里、キャンプ場、コカ・コーラパークフィールド72等、西滝川エリアの活性化に大きな期待が寄せられる一方、公共交通環境は大変脆弱であるとする。公共交通のあり方を速やかに検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 事務レベルで検討を行っているところです。現段階でお示しができる状態ではありませんが、新海洋センターができるということで、費用の面も含め、具体的に検討を行っていきます。

問 検討段階と理解したが、実現への可能性について伺う。

答 現在、検討を進めている段階ですので、実現の可能性については現段階ではお答えできないということになります。

文化振興と保育料算定について



高橋江海子（会派清新）



問 文化ホールを駅周辺整備事業に組み込む計画に変わりないとのことだが、継続的な協議会設置の考えはあるか伺う。

答 対話を重視し、前向きに検討します。

問 本市の文化振興への考えを伺う。

答 文化は心の潤いです。現状は大変申し訳なく思いますが、子どもたちに楽器を贈るなど、今後も文化振興のために多くの方と協力して取り組んでいきたいと考えています。

問 千葉市のように多子基準を見直し、保育料負担軽減制度の拡大ができないか。時代に合わせた子育て支援について伺う。

答 本市で同様の支援策を行う場合、年間1千万円程の独自予算が必要です。学童など他の子育て支援の維持もあるので、今後も予算を鑑みながら支援充実努めます。

第3回定例会 一般質問から

防災行政について



山口 清悦（新国会）



問 災害時の輸送協定について、滝川市と民間団体との災害時協定は様々な分野で結んでいるが、啓南団地などの住民は高齢化が進み、自力で避難できない人たちが増えてきている。大量の人数が早急に避難しなければならないときに備え、バス会社やタクシー会社と災害時協定を結ぶべきと思うが、見解を伺う。

答 これまで住民の大量避難は想定していなかったため、今後は他市町村の状況などを調査して検討していきます。

問 事業継承が難しくなっている訪問介護事業所に対する支援について伺う。

答 市内事業所の窮状を把握していることから、国への要望を行いつつ、どのような支援ができるか前向きに検討していきます。

市政執行について



柴田 文男（会派清新）

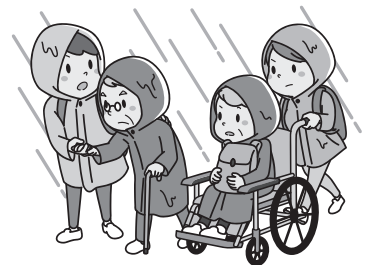
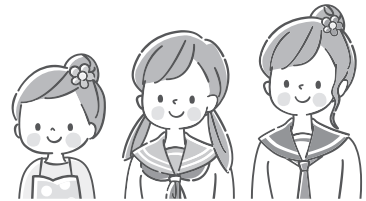


問 全国各地の自治体では業務上の問題や停滞事案が発生している。本市においても予想外の事態が起こる可能性があるため、市政執行上の人員配置や意思伝達手段等を点検し、改善に努めるべきと思うが、市の考えを伺う。

答 時代に応じた改善が必要との認識はあります。ご指摘の行政組織における人員配置や意思伝達は重要と考えており、今後改善に向け検討していきたいと考えています。

問 現状の指定管理の標準期間である3年では、対応が困難な事業所があると聞く。全国の状況を加味し、見直すべきと考えるが、見解を伺う。

答 全国の多くの自治体が5年の期間を採用する傾向にあります。現行の条例中でも対応は可能と考えていますが、見直しについて前向きに対処していきたいと考えています。



Topics 議員活動の紹介

研修会を開催しました

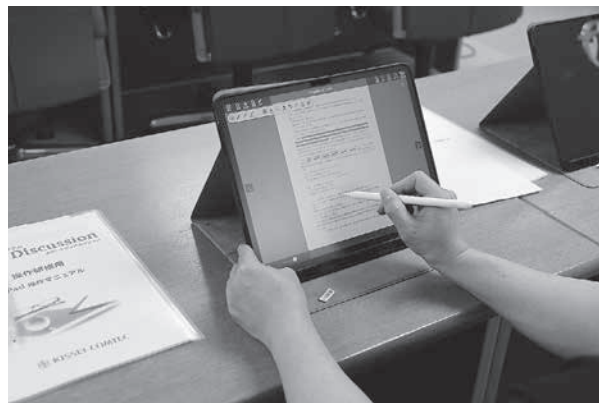
今回の定例会・臨時会本会議及び各常任委員会より運用を開始するタブレット端末及び会議システムの操作研修会を開催しました。各講師の丁寧な説明の下、議員自ら実機の操作を行いながら学びました。今後1年間は、紙とタブレットを併用しながら実務的な支障等を確認し、議会運営の効率化等を目指していきます。

タブレット操作研修会開催



（令和7年9月24日開催）

会議システム操作研修会開催



（令和7年9月25日開催）